

令和2年度 海上の森保全活用事業の取組状況について

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の適切な維持管理のための委託業務 0.79ha
森林の維持管理事業	林道維持管理	台風や豪雨等で損傷した林道、作業道、歩道等の整備補修
	林道修繕	台風や豪雨等で損傷した林内路網の修繕
	危険木伐採	枯損木、倒木等の危険木の除去
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝除去・歩道等の点検と巡視 台風や豪雨等の被害木の除去
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、業者による草刈等を実施 (農地等草刈 0.72ha)	
自然環境調査事業	ホトケドジョウ調査	海上の森に生息するホトケドジョウの生息状況を把握し、その結果を生息環境の保全に役立てるため、全数調査や餌生物及び捕食生物についての定性調査などを委託により実施
	猛禽類調査	海上の森の猛禽類の活動状況を把握し、その結果を海上の森の保全活用に役立てるため、猛禽類の飛翔状況などを調査
	稀少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎資料となる生息状況を調査
	ほ乳類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎資料となる、シカ、イノシシ、キツネ、タヌキ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第10号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目		取組状況				
		行事名等	定員 (人)	参加数 (人)	参加率 (%)	
体験学習の 実施(体験習 プログラム)	里と森の教室	畑作、稲作体験	8回セット	40	41	103
	調査学習会	海上の森の水生物(1回)		30	15	50
	森の楽校	遊歩施設・幼児体験フィールドを 活用した森林環境教育(1回)		60	50	83
	計			130	106	82
多様な主体 の参加の促 進	県民や県民参加組 織との連携	海上の森の会との連携 サポーター制度 37名の登録				
	企業等との連携	令和2年度活動した企業2社と1団体 ワタミ・SEF、カルビー、ヤマとナデシコ (豊田自動織機、トーマツ、CKD、TBエンジニアリング、 伊藤園の企業5社は新型コロナのため活動中止) 森林整備面積:4.78ha 企業、県環境部、当センターとの3者協定 ダイワリース(JXTGは新型コロナのため活動中止)				
	全国の里山保全活 動や施設との連携	新型コロナ対策のため施設間の交流は中止 パネル展示による「NPO・グループ活動発表ひろば」開 催				
	大学・小中学校・官 庁・市民団体等との 連携	<講義・実習> 名古屋大学、愛知工業大学 <団体・環境教育> よりあい工房ばんどり、みのむしックス、ヤマとナデシコ、 あいち海上の森交流会、苔むす会など <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査、名古屋大学、名 古屋工業大学、岐阜大学、愛知工業大学、愛知学院大学、名 古屋産業大学、人間環境大学、なごや生物多様性保全活動 協議会、あいちコウモリ調査隊など				

(2) 人材育成

事業	項目	内容
海上の森 アカデミー	講座及び実施期間	森の自然教育コース(緊急事態宣言のため中止)5日間 森女養成コース(10/10~11/15)6日間 里山暮らしコース(11/28~1/11)5日間 基礎講座(緊急事態宣言のため中止)
	場 所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	応募者数/ 受講者数	森の自然教育コース (中止) 森女養成コース 25人/9人 里山暮らしコース 23人/10人 基礎講座 (中止)
ミニセミナー	開催日数	10/24 11名 12/26 18名 4月~9月は中止、10月から定員20名で2回実施

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

事業項目	取組状況
------	------

学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」等を有償頒布
自然環境情報等の収集整理・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・インターネット、SNSでの情報発信、書籍の購入 ・「ムーアカデミー通信」の発行 2回 ・「海上の森調査報告書第10号」の発刊

4 センターの整備と運営

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	<p>施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など</p> <p>○施設利用者数（令和3年2月末現在） あいち海上の森センター 14,098人（累計 297,906人） 幼児森林体験フィールド 5回、123人</p> <p>○スタンプラリーの実施（令和3年2月末現在） 令和2年度は新型コロナ対策のため中止 （H19.10.20から 累計1,670人）</p>
海上の森運営協議会	<p>2回（令和2年9月18日、令和3年3月16日）開催</p> <p>○令和2年度海上の森保全活用事業の取組状況 ○令和3年度海上の森保全活用事業の実施計画 ○海上の森保全活用計画2025の進捗管理</p>